

(小規模企業景気動向調査)

# 三重の景況

No.73

(平成30年7月～12月期)

## 三重県商工会議所連合会

桑名	商	工	会	議	所
四日市	商	工	会	議	所
鈴鹿	商	工	会	議	所
亀山	商	工	会	議	所
津	商	工	会	議	所
松阪	商	工	会	議	所
伊勢	商	工	会	議	所
鳥羽	商	工	会	議	所
上野	商	工	会	議	所
名張	商	工	会	議	所
尾鷲	商	工	会	議	所
熊野	商	工	会	議	所



# も く じ

## ( 調 査 内 容 )

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	10
5. 販売条件	10
6. 仕入条件	11
7. 設備投資	11
8. 資金繰り状況と今後の見通し	12
9. 借入状況	13
借入難易度D I 値の推移	14
10. 借入予定	15
11. 借入希望先	15
12. 借入金の使途予定	16
13. 経営上の問題点	16
・ 県内商工会議所地区の景況	18
・ 景況調査票	

## はじめに（総括）

三重県商工会議所連合会では、県内 12 商工会議所合同で、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび平成 30 年下期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲12.7 と平成 30 年上期に比べ 7.5 ポイント改善しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲19.9（前期▲18.2）、建設業 10.4（前期▲6.3）、卸売業▲13.7（前期▲35.9）、小売業▲38.5（前期▲43.6）、飲食業▲19.9（前期▲36.5）、サービス業▲10.9（前期▲15.5）、交通運輸業▲0.1（前期▲22.7）、その他の業種▲10.5（前期 0.0）と、製造業とその他の業種以外の業種で改善しています。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲10.5（前期▲17.8）、中勢地区▲12.8（前期▲28.0）、南勢地区▲8.2（前期▲17.3）、伊賀地区▲11.9（前期▲4.7）、東紀州地区▲36.9（前期▲39.0）となり、伊賀地区を除くすべての地区で改善となりました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲18.7 となり、現状の D I 値と比較すると 6.0 ポイントの悪化になると見通しています。業種別では、その他の業種のみ現状の D I 値より改善、製造業でほぼ横ばい、建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業・交通運輸業において悪化の見通しとなり、地区別では、東紀州地区で横ばい、北勢地区・中勢地区・南勢地区・伊賀地区で悪化の見通しとなりました。

「売上状況」、「利益状況」、「販売条件」、「仕入条件」の項目では、全体としては「売上状況」、「利益状況」、「販売条件」の D I 値は、前期より改善の傾向となりました。「仕入条件」は横ばいとなりました。地区別の「売上状況」は北勢地区・中勢地区・南勢地区で改善、伊賀地区・東紀州地区で悪化、「利益状況」は東紀州地区のみが悪化の他、その他の地区で改善、「販売条件」は北勢地区・中勢地区・南勢地区で改善、伊賀地区・東紀州地区が横ばい、「仕入条件」は東紀州地区で改善、北勢地区・中勢地区・南勢地区で横ばい、伊賀地区で悪化の傾向となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 20.0%（前期 15.9%）と 4.1%増加、「予定している」とした割合は、全体で 15.1%（前期 13.8%）と 1.3%増加しました。業種別の実績では、交通運輸業が 39.6%（前期 29.5%）で割合が最も高く、地区別の実績では北勢地区が 22.7%（前期 16.9%）、設備投資の予定でも北勢地区が 16.4%で最も高くなっています。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 6.8（前期 7.0）と横ばいとなったほか、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 14.6%（前期 14.4%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 63.9%（前期 63.7%）、『設備資金』の割合は 33.2%（前期 31.4%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いです。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

平成 31 年 2 月

三重県商工会議所連合会

# 「三重の景況」調査要領

## 1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内12商工会議所[\*1]が、小規模企業[\*2]の動向を  
合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別[\*3]に行い、合わせて各会議  
所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

### [\*1] 県内商工会議所

桑名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴鹿商工会議所	中小企業相談所
亀山商工会議所	中小企業相談所
津商工会議所	中小企業相談所
松阪商工会議所	中小企業相談所
伊勢商工会議所	中小企業相談所
鳥羽商工会議所	中小企業相談所
上野商工会議所	中小企業相談所
名張商工会議所	中小企業相談所
尾鷲商工会議所	中小企業相談所
熊野商工会議所	中小企業相談所

### [\*2] 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員5人以下、製造・建設・その他の業種については  
20人以下。（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

### [\*3] 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山  
中勢地区……津・松阪  
南勢地区……伊勢・鳥羽  
伊賀地区……上野・名張  
東紀州地区…尾鷲・熊野

## 2. 調査対象・回答状況

県内12商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業9,610事業所を対象とした。回答状況は、回答率26.5%、回答企業2,545事業所であった。

## 3. 調査方法

FAXまたは郵送方法によるアンケート方式

## 4. 調査期間

平成31年1月4日～1月11日

※ 当調査は、“1月～6月期”と“7月～12月期”の年2回、調査を実施している。

## 5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

## 6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、桑名・四日市・鈴鹿・亀山の4商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

### D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### （注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

## 業種別・地区別回答状況

単位:企業 ( ):% 上:業種別構成率 下:地区別構成率

業種	地区	北勢					中勢			南勢			伊賀			東紀州			計	
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪	伊勢	鳥羽	上野	名張	尾鷲	熊野							
														計						
製造業	食料	47	10	24	8	5	29	10	19	12	11	1	8	3	5	13	9	4	109	
	せんい	8	2	3	2	1	2	0	2	1	1	0	3	3	0	1	1	0	15	
	機械	64	27	19	15	3	10	4	6	10	4	6	4	2	2	2	2	0	90	
	金属製品	78	27	18	27	6	14	4	10	9	5	4	3	3	0	3	2	1	107	
	木材	20	9	7	0	4	16	2	14	7	6	1	3	3	0	12	10	2	58	
	化学	10	1	6	2	1	3	2	1	3	3	0	3	1	2	0	0	0	19	
	窯業	20	1	13	3	3	2	1	1	1	1	0	0	0	0	2	1	1	25	
	印刷出版	12	5	1	5	1	14	8	6	3	3	0	2	1	1	2	1	1	33	
	その他	59	11	23	18	7	19	7	12	6	4	2	6	2	4	5	4	1	95	
	計	318 (24.3) (57.7)	93	114	80	31	109 (22.6) (19.8)	38	71	52 (13.7) (9.4)	38	14	32 (17.2) (5.8)	18	14	40 (21.4) (7.3)	30	10	551 (21.7) (100.0)	
非製造業	建設業	土木工事	82	12	38	27	5	15	7	8	12	6	6	14	5	9	9	7	2	132
		建築工事	158	30	74	51	3	47	22	25	28	20	8	16	10	6	14	11	3	263
		その他	148	26	80	37	5	46	26	20	17	14	3	10	4	6	11	9	2	232
		(小計)	388	68	192	115	13	108	55	53	57	40	17	40	19	21	34	27	7	627
	卸売業	食料	17	8	7	1	1	7	2	5	10	9	1	2	1	1	6	5	1	42
		せんい	5	0	4	1	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	0	0	0	8
		その他	40	13	20	5	2	16	6	10	13	8	5	8	4	4	4	3	1	81
		(小計)	62	21	31	7	3	23	8	15	24	18	6	12	6	6	10	8	2	131
	小売業	せんい	30	10	10	4	6	18	7	11	20	18	2	7	4	3	13	9	4	88
		食料	36	16	11	6	3	10	3	7	13	9	4	7	3	4	7	4	3	73
		日用品	9	3	2	4	0	6	1	5	9	9	0	0	0	0	3	2	1	27
		電気製品	14	4	3	5	2	5	1	4	7	7	0	3	3	0	4	3	1	33
		その他	81	21	37	19	4	55	15	40	35	22	13	12	8	4	16	8	8	199
	(小計)	170	54	63	38	15	94	27	67	84	65	19	29	18	11	43	26	17	420	
	サービス業	飲食業	51	13	18	13	7	22	3	19	60	47	13	8	4	4	15	12	3	156
		美容・理容	32	5	14	9	4	8	2	6	16	15	1	13	9	4	9	6	3	78
		ホテル旅館	2	0	1	1	0	2	1	1	10	4	6	0	0	0	5	3	2	19
		自動車整備	33	7	7	15	4	20	4	16	16	15	1	8	1	7	4	2	2	81
		不動産	60	16	39	2	3	17	8	9	10	10	0	9	3	6	4	3	1	100
		その他	103	31	54	12	6	40	20	20	38	36	2	18	4	14	7	5	2	206
	(小計)	230	59	115	39	17	87	35	52	90	80	10	48	17	31	29	19	10	484	
	交通運輸業	22	3	4	8	7	24	7	17	2	1	1	2	1	1	3	3	0	53	
	計	923 (70.5) (49.3)	218	423	220	62	358 (74.1) (19.1)	135	223	317 (83.6) (16.9)	251	66	139 (74.7) (7.4)	65	74	134 (71.7) (7.2)	95	39	1,871 (73.5) (100.0)	
	その他	69 (5.3) (56.1)	16	23	26	4	16 (3.3) (13.0)	15	1	10 (2.6) (8.1)	6	4	15 (8.1) (12.2)	4	11	13 (7.0) (10.6)	7	6	123 (4.8) (100.0)	
	合計	1,310 (100.0) (51.5)	327	560	326	97	483 (100.0) (19.0)	188	295	379 (100.0) (14.9)	295	84	186 (100.0) (7.3)	87	99	187 (100.0) (7.3)	132	55	2,545 (100.0) (100.0)	

# 1. 現状と今後の見通し

## a) 現状

全回答企業 2,545 事業所中、「良い・やや良い」が 22.2%、「悪い・やや悪い」が 34.9%で、D I 値は ▲12.7（前期▲20.2）となり、7.5 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、製造業とその他業種で前回と比べマイナス幅が増加し悪化となり、製造業▲19.9、建設業 10.4、卸売業▲13.7、小売業▲38.5、飲食業▲19.9、サービス業▲10.9、交通運輸業▲0.1、その他▲10.5 となった。

地区別の D I 値では、伊賀地区は▲11.9 ポイントと前回と比べ、▲7.2 ポイント悪化したが、北勢地区▲10.5、中勢地区▲12.8、南勢地区▲8.2、東紀州地区▲36.9 と改善が見られた。

図-1 現状について（業種別）

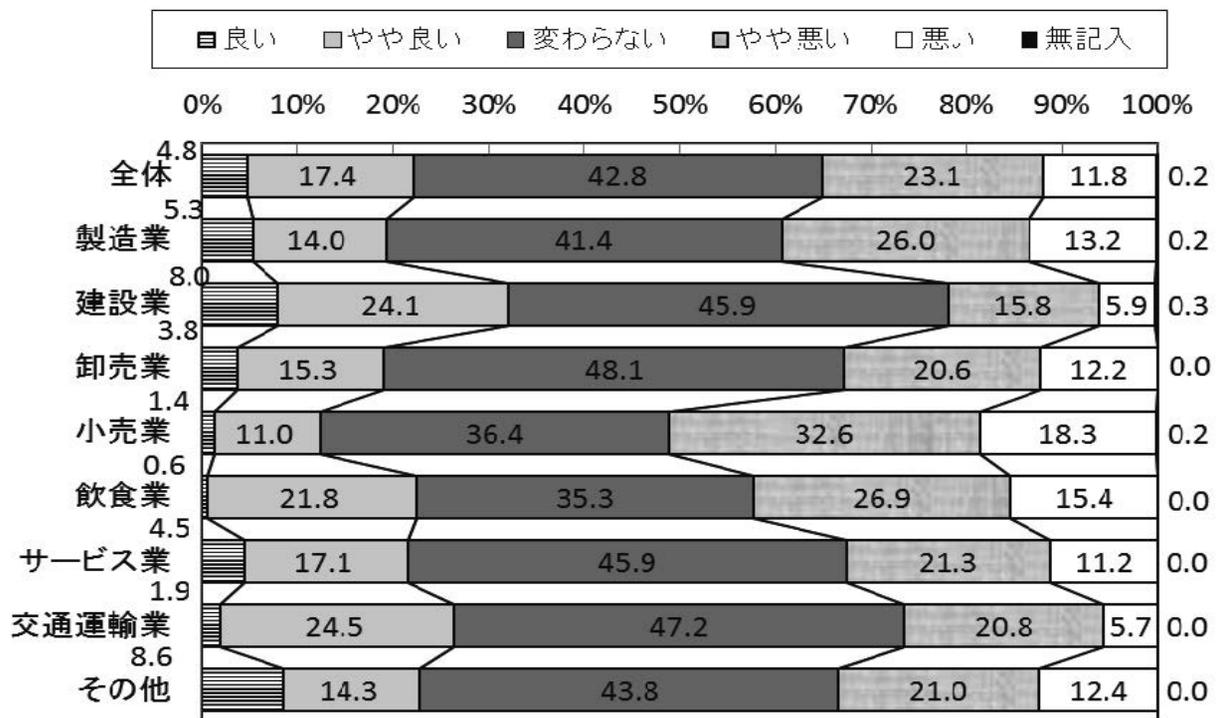
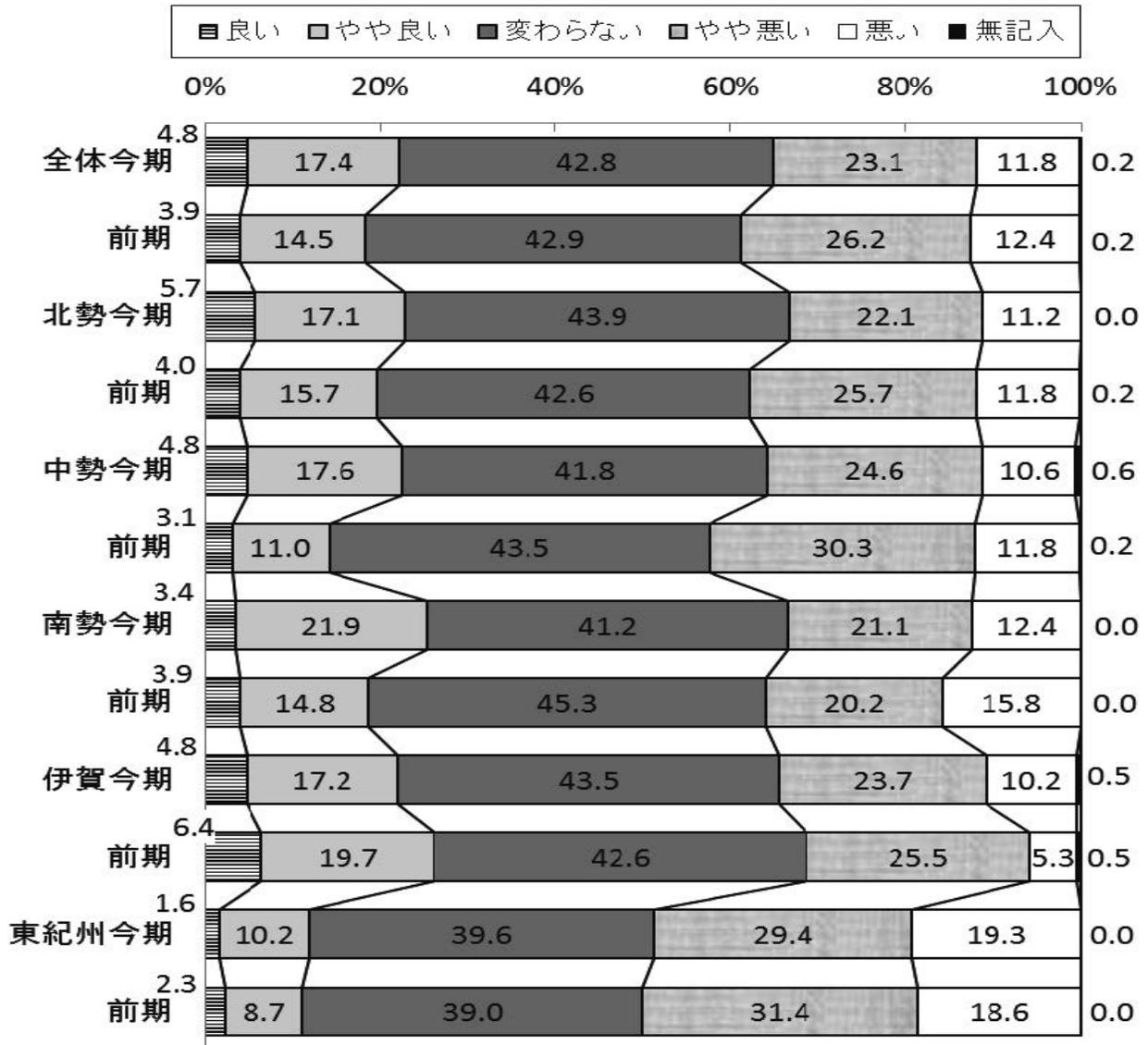
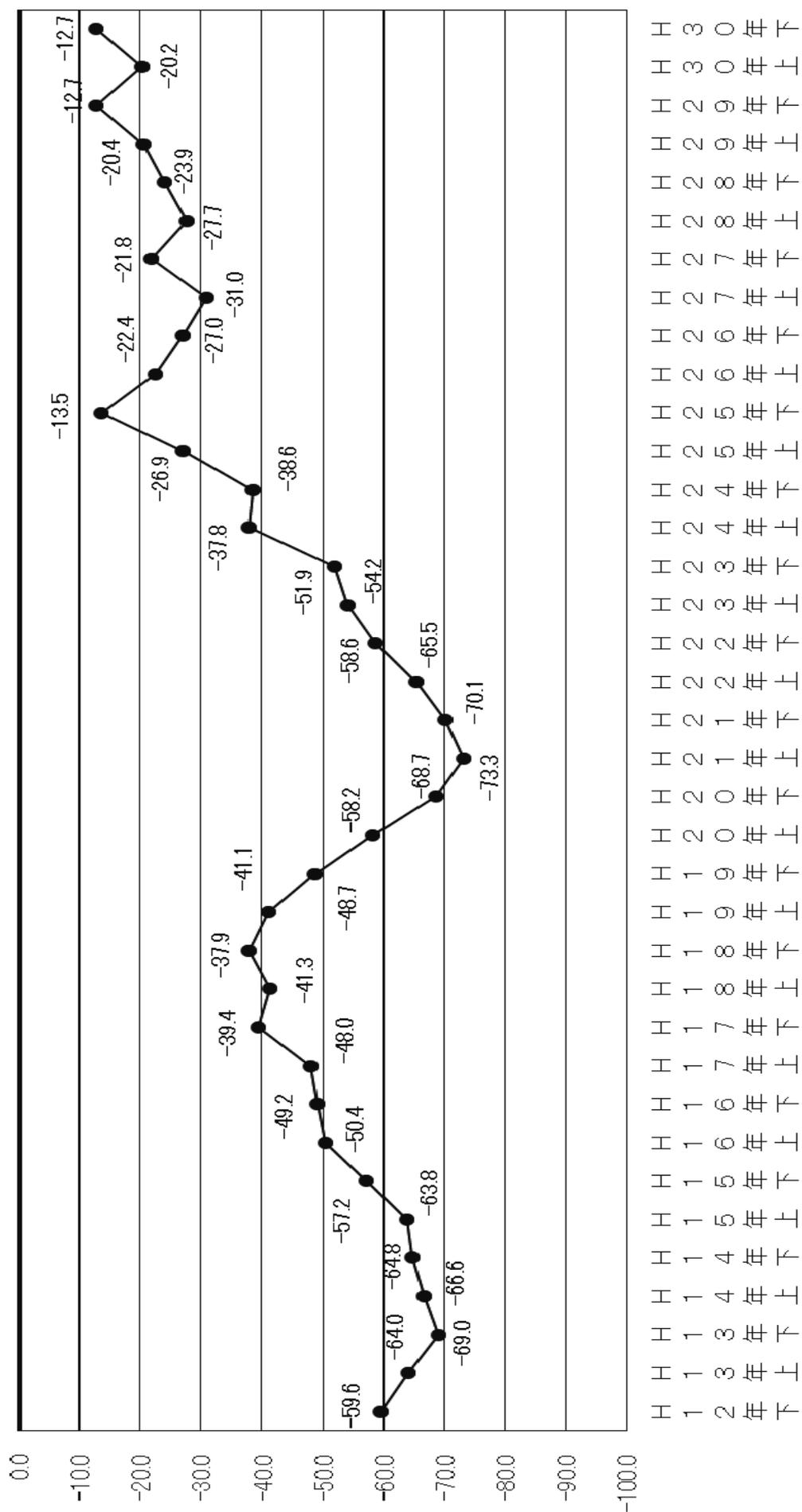


図-2 現状について（全体・地区別）



図一3 現況D I 値の推移



(注) H17 下期分までの値は BSI 値を 2 倍した数値で表示

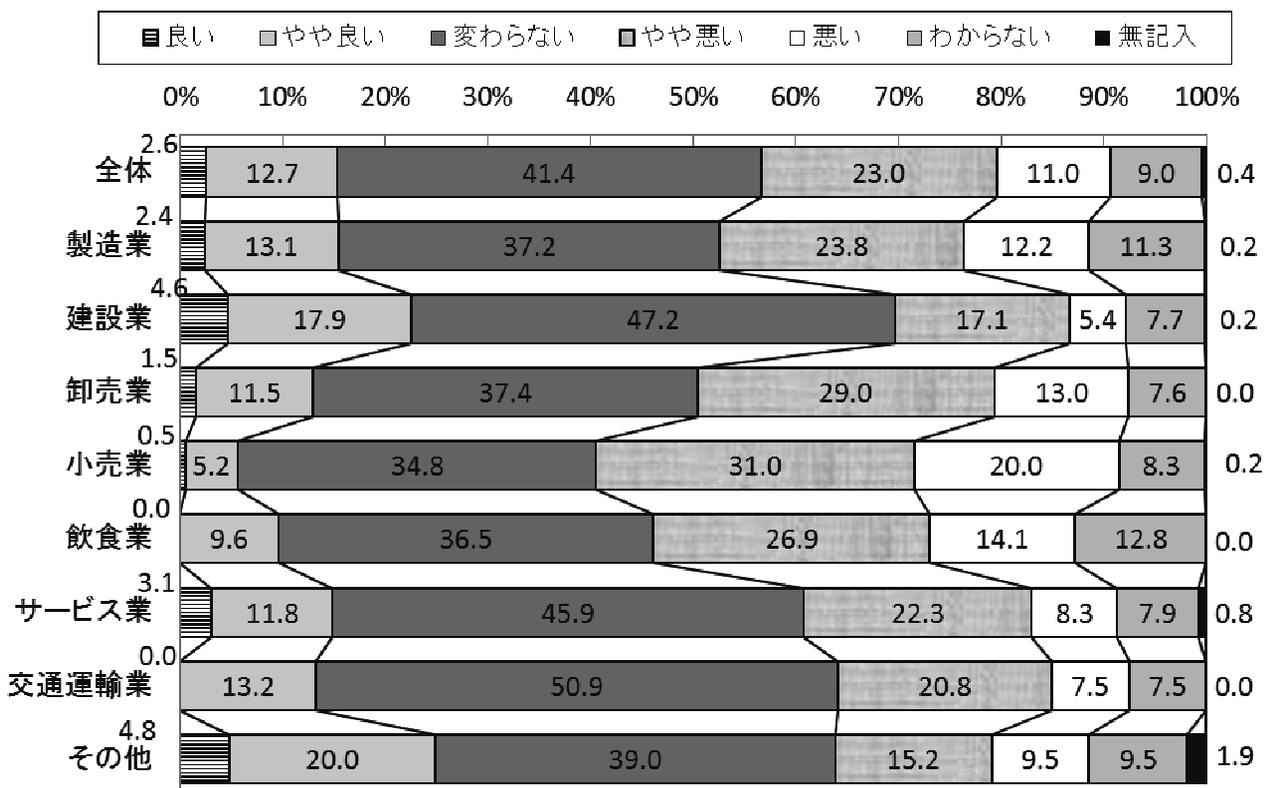
## b) 見通し

全体の見通しでは、「良い・やや良い」が 15.3%、「悪い・やや悪い」は 34.0%で、D I 値は▲18.7（現状D I 値▲12.7）となり、6.0ポイント悪化の見通しとなった。

業種別のD I 値では、製造業、その他の業種以外が現状と比べD I 値が減少し悪化の見通しとなり、製造業▲20.5、建設業 0.0、卸売業▲29.0、小売業▲45.3、飲食業▲31.4、サービス業▲15.7、交通運輸業▲15.1、その他の業種 0.1となった。

地区別のD I 値では、東紀州地区▲36.9 と変化はなかったが、北勢地区▲15.9、中勢地区▲18.4、南勢地区▲16.9、伊賀地区▲24.7 とマイナス幅が増加し悪化を見通している。

図-4 今後の見通しについて（業種別）



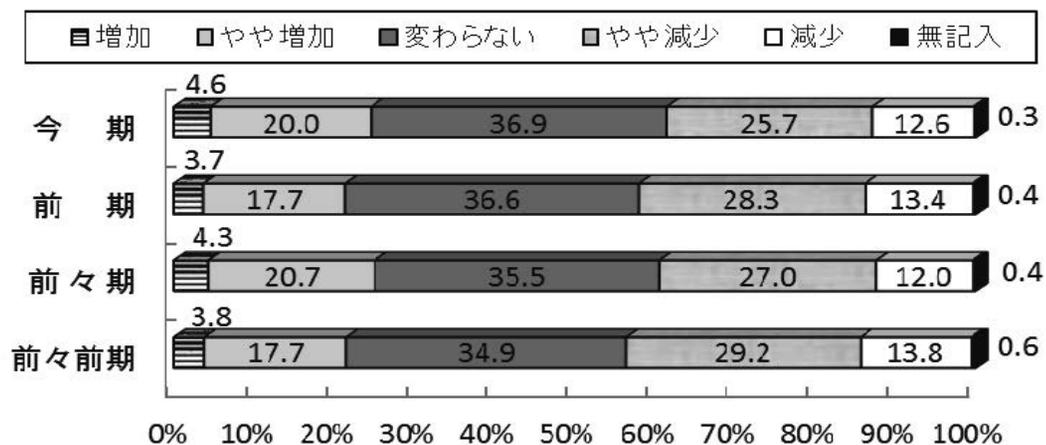
## 2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が 24.6%（前期 21.4%）、「やや減少・減少」が 38.3%（前期 41.7%）で、D I 値は▲13.7（前期▲20.3）となり、6.6 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、小売業、その他の業種以外で前回と比べ改善が見られ、製造業▲16.1、建設業 5.3、卸売業▲16.9、小売業▲40.0、飲食業▲24.9、サービス業▲11.1、交通運輸業 1.8、その他の業種▲11.4 となった。

地区別の D I 値では、北勢地区▲11.2、中勢地区▲17.7、南勢地区▲5.2 で前回と比べ改善が見られたが、伊賀地区▲15.0、東紀州地区▲38.0 とマイナス幅が増加し悪化が見られた。

図-5 売上状況



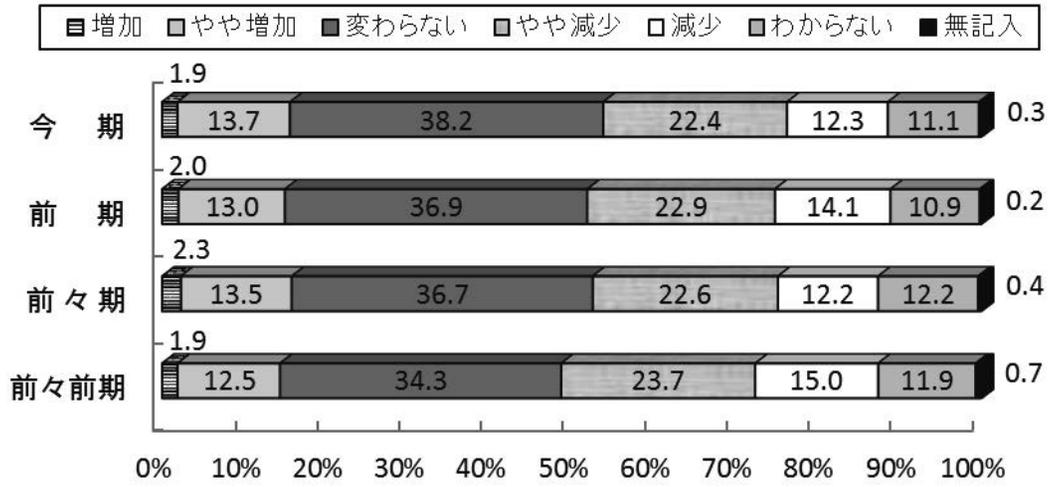
## 3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が 15.6%（前期 15.0%）、「やや減少・減少」が 34.7%（前期 37.0%）で、D I 値は▲19.1（現状 D I 値▲13.7）となり、5.4 ポイント悪化の見通しとなった。

業種別の D I 値では、その他の業種以外で現状と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲21.0、建設業▲4.2、卸売業▲21.4、小売業▲42.2、飲食業▲32.0、サービス業▲15.4、交通運輸業▲15.1、その他の業種▲2.9 となった。

地区別の D I 値では、東紀州地区▲35.3 で現状と比べ改善の見通しとなったが、北勢地区▲16.4、中勢地区▲20.1、南勢地区▲16.1 伊賀地区▲25.8 とマイナス幅が増加し悪化見通している。

図-6 売上見通し



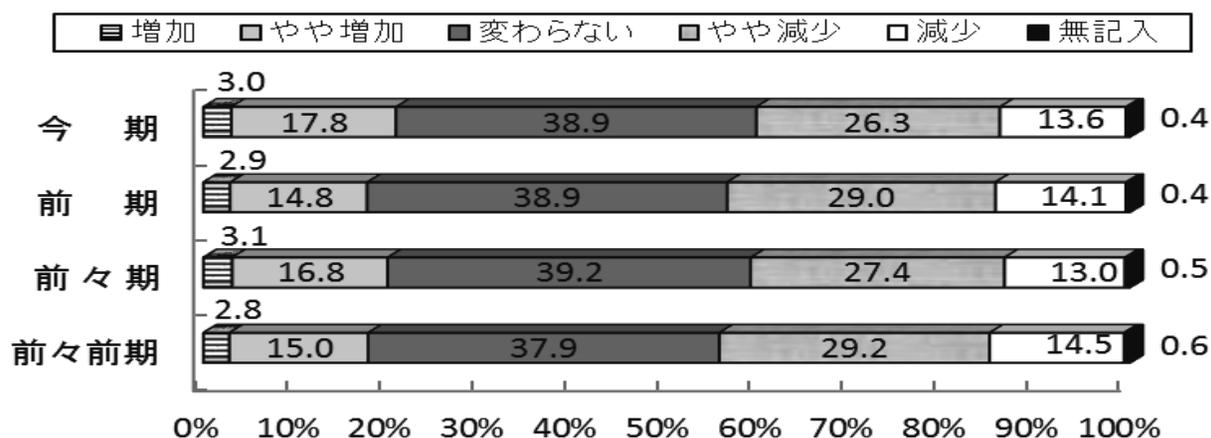
#### 4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が 20.8%（前期 17.7%）、「やや減少・減少」が 39.9%（前期 43.1%）で、D I 値は▲19.1（前期▲25.4）となり、6.3 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業で前回と比べ改善が見られ、製造業▲25.4、建設業▲3.4、卸売業▲22.1、小売業▲39.3、飲食業▲28.3、サービス業▲12.9、交通運輸業▲7.5、その他の業種▲20.9 となった。

地区別の D I 値では、東紀州地区▲45.4 で現状と比べマイナス幅が増加し悪化が見られたが、北勢地区▲18.3、中勢地区▲21.9、南勢地区▲6.2、伊賀地区▲16.6 と改善が見られた。

図-7 利益状況



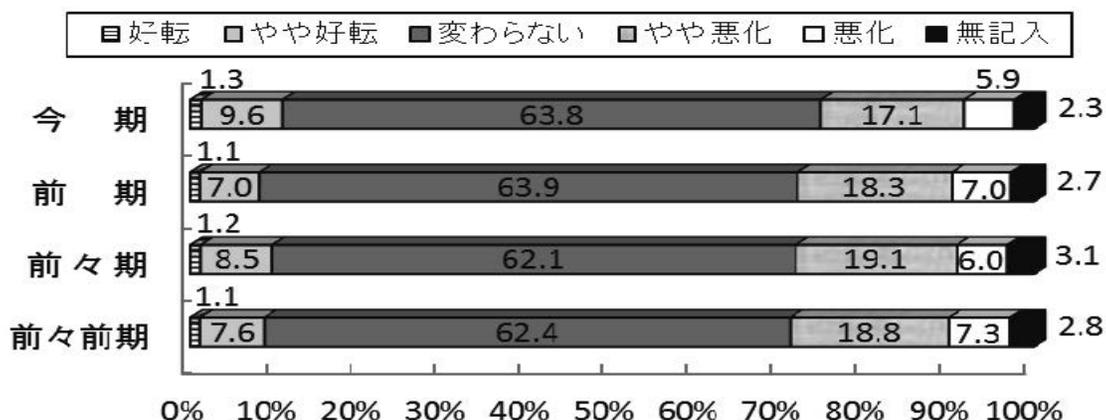
#### 5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が 10.9%（前期 8.1%）、「やや悪化・悪化」が 23.0%（前期 25.3%）で、D I 値は▲12.1（前期▲17.2）となり、5.1 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、その他の業種以外で前回と比べ改善が見られ、製造業▲12.4、建設業▲1.9、卸売業▲12.2、小売業▲26.6、飲食業▲23.7、サービス業▲8.8、交通運輸業 3.8、その他の業種▲17.1 となった。

地区別の D I 値では、北勢地区▲11.8、中勢地区▲11.8、南勢地区▲6.3 で前回と比べ改善が見られ、伊賀地区▲8.6、東紀州地区▲28.9 とほぼ横ばいであった。

図-8 販売条件



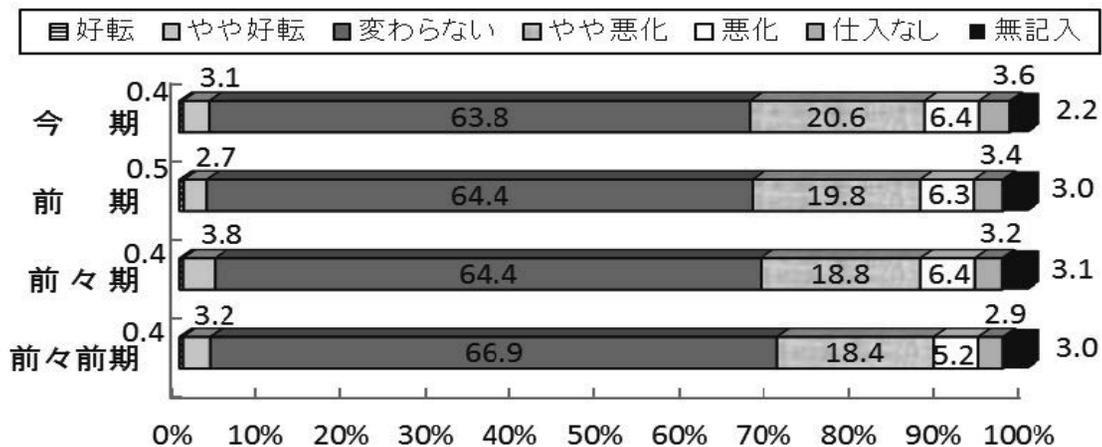
## 6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が3.5%（前期3.2%）、「やや悪化・悪化」が27.0%（前期26.1%）で、D I値は▲23.5（前期▲22.9）とほぼ横ばいであった。

業種別のD I値では、卸売業、小売業、飲食業、交通運輸業で前回と比べ改善が見られ、製造業▲30.3、建設業▲18.2、卸売業▲25.1、小売業▲30.2、飲食業▲39.8、サービス業▲13.2、交通運輸業▲18.9、その他の業種▲18.0となった。

地区別のD I値では、東紀州地区▲31.5で前回と比べ改善、北勢地区▲23.8、中勢地区▲22.4、南勢地区▲19.2とほぼ横ばいであるが、伊賀地区▲24.2とマイナス幅が増加し悪化見通している。

図-9 仕入条件



## 7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は510社、20.0%（前期408社、15.9%）、設備投資を予定している企業は384社、15.1%（前期354社、13.8%）であった。

業種別では、交通運輸業が39.6%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定については、その他の業種が21.9%と最も高い割合であった。

地区別では、北勢地区が実績22.7%と最も高く、設備投資の予定についても北勢地区が16.4%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

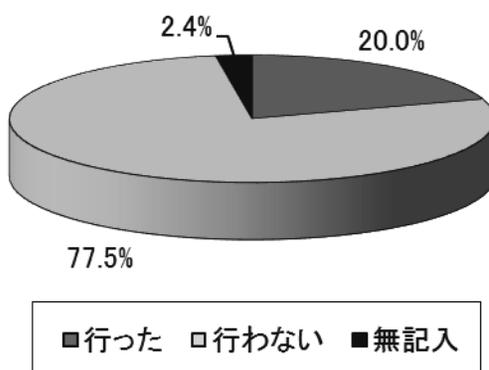
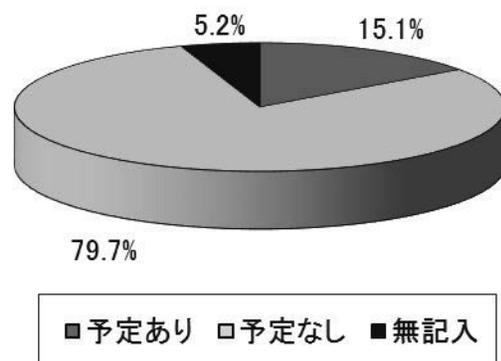


図-11 設備投資の予定



## 8. 資金繰り状況と今後の見通し

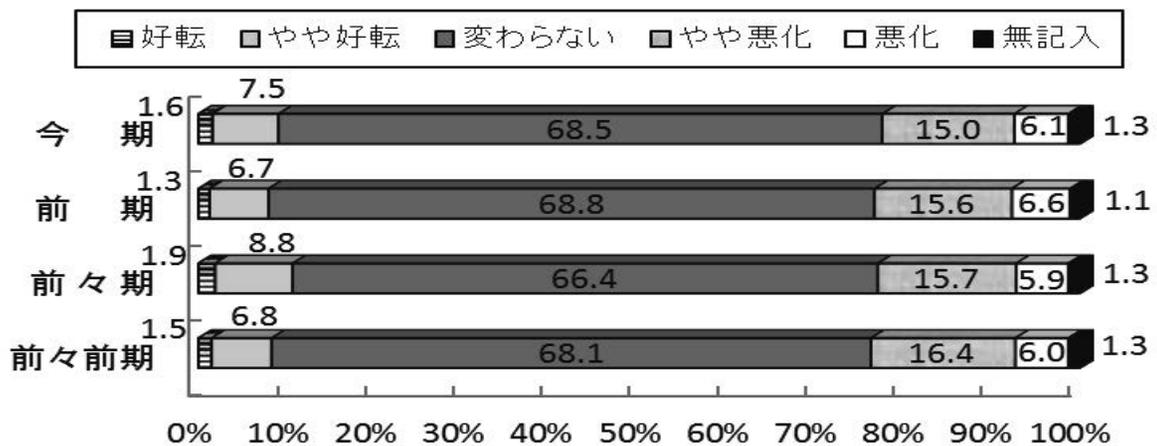
### a) 現状

全体では「好転・やや好転」が9.1%（前期8.0%）、「悪化・やや悪化」は21.1%（前期22.2%）で、D I 値は▲12.0（前期▲14.2）となり、2.2ポイント改善した。

業種別D I 値では、製造業、サービス業、その他の業種以外で前回と比べ改善が見られ、製造業▲13.4、建設業▲0.8、卸売業▲6.9、小売業▲25.0、飲食業▲25.7、サービス業▲9.8、交通運輸業▲7.5、その他の業種▲15.3となった。

地区別D I 値では、伊賀地区▲12.9 で前回と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、北勢地区▲10.4、中勢地区▲11.7、東紀州地区▲23.1 と改善、南勢地区▲11.9 とほぼ横ばいであった。

図-12 資金繰りの現状



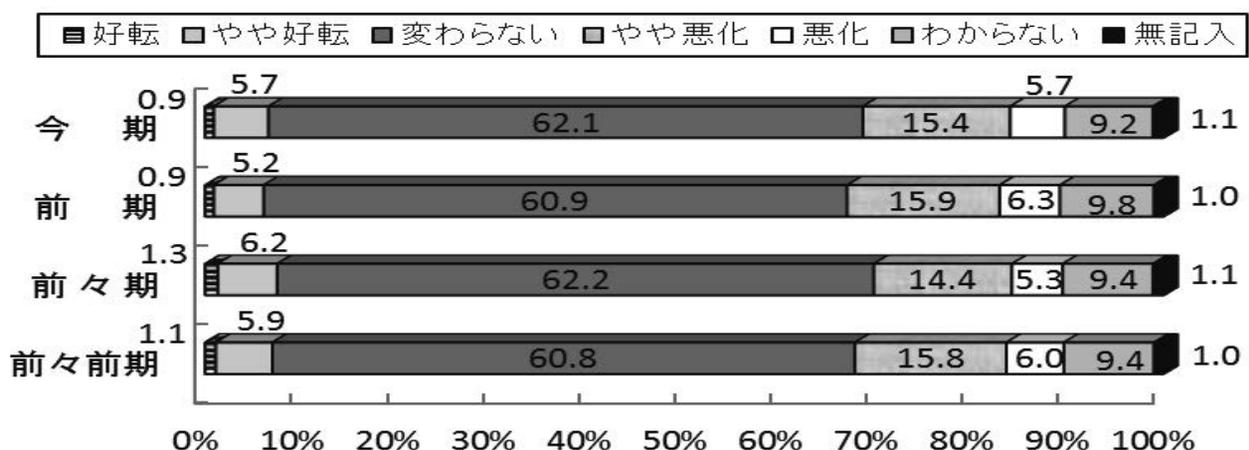
### b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が6.6%（前期6.1%）、「悪化・やや悪化」は21.1%（前期22.2%）でD I 値は▲14.5（現状D I 値▲12.0）となり、2.5ポイント悪化の見通しとなった。

業種別D I 値では、飲食業、その他の業種で現状と比べ改善の見通しとなり、製造業▲16.0、建設業▲6.0、卸売業▲10.7、小売業▲30.7、飲食業▲22.5、サービス業▲10.3、交通運輸業▲7.5、その他の業種▲7.5となった。

地区別D I 値では、東紀州地区▲20.9 で現状と比べ改善の見通しとなり、北勢地区▲11.9、中勢地区▲17.4、南勢地区▲15.8、伊賀地区▲15.6 とマイナス幅が増加し悪化見通している。

図-13 資金繰りの見通し



## 9. 借入状況

### a) 現状

回答企業 2,545 社のうち、借入を実施した企業は、1,116 社、43.9%（前期 1,084 社、42.4%）であった。

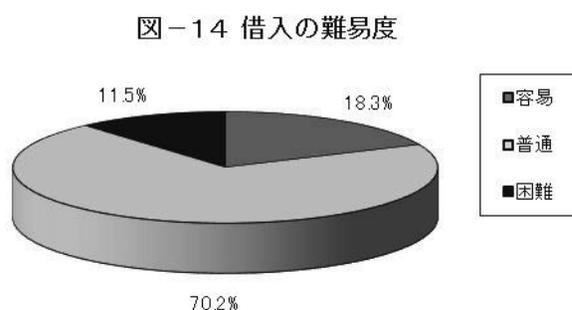
### b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 18.3%（前期 17.2%）、「困難」は 11.5%（前期 10.2%）で、D I 値は 6.8（前期 7.0）とほぼ横ばいであった。

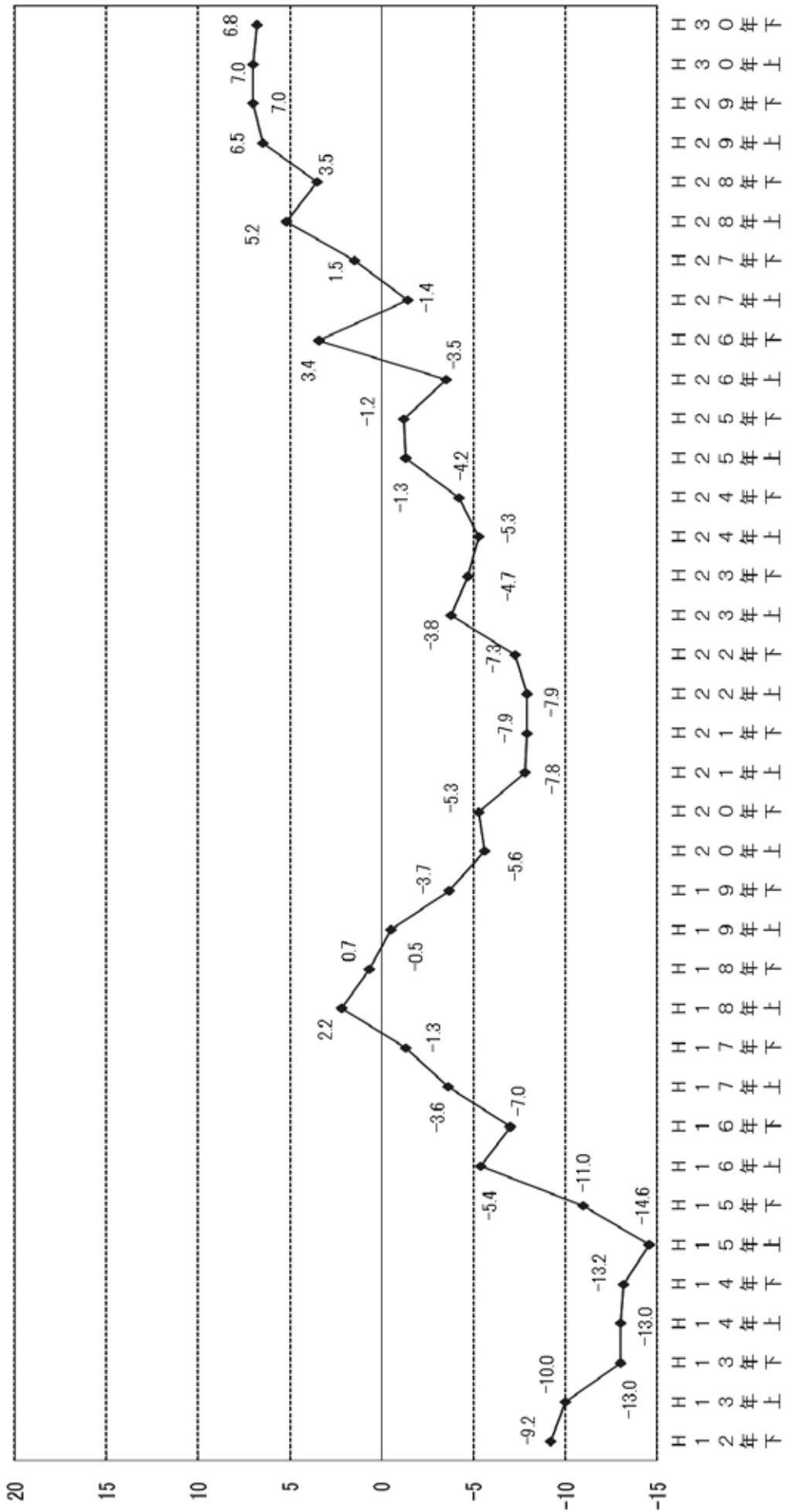
業種別 D I 値では、卸売業で前回と比べプラス幅が増加、飲食業、交通運輸業で改善が見られ、製造業 7.8、建設業 14.2、卸売業 4.9、小売業▲0.7、飲食業 0.0、サービス業 3.3、交通運輸業 0.0、その他の業種▲2.4 となった。

地区別 D I 値では、中勢地区 13.2 で前回と比べプラス幅が増加、南勢地区▲1.3 で改善し、北勢地区 7.2 とほぼ横ばい、東紀州地区 0.0 と変化はなかったが、伊賀地区 12.1 と悪化が見られた。

図-14 借入の難易度



図一15 借入難易度D I 値の推移



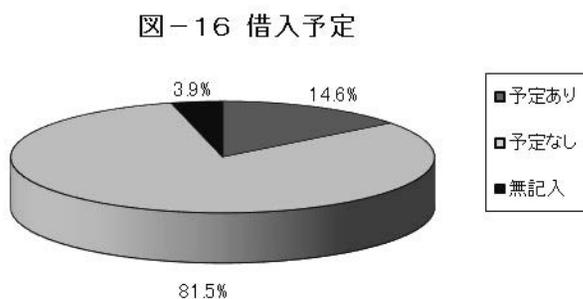
## 10. 借入予定

全体では、回答企業 2,545 社のうち、借入を予定している企業は 371 社、14.6%（前期 369 社 14.4%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのはその他の業種が 21.9%と最も高く、飲食業が 9.6%と最も低かった。

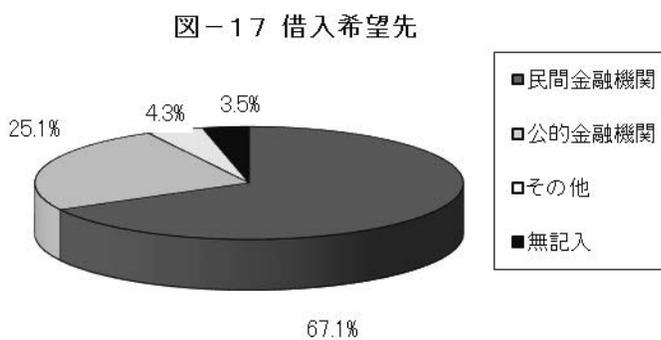
地区別では、北勢地区が 16.6%と最も高く、中勢地区 12.8%、南勢地区 9.5%、伊賀地区 14.0%、東紀州地区 15.5 となった。

図-16 借入予定



## 11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 67.1%（前期 67.8%）、「公的金融機関」は 25.1%（前期 26.3%）となった。

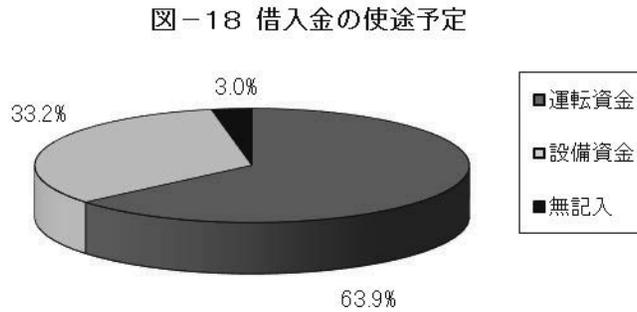


## 12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が63.9%（前期63.7%）に対し、「設備資金」は33.2%（前期31.4%）であった。

業種別では「運転資金」で卸売業が89.5%、「設備資金」でサービス業が57.7%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



## 13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く37.7%（前期43.9%）、次いで「人手不足」が34.8%（前期31.4%）、「競争激化」が21.8%（前期22.5%）となった。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が、建設業、飲食業、交通運輸業、その他の業種で「人手不足」の回答が最も多かった。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第1位	第2位	第3位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (39.9)	人手不足 (30.7)	原材料高及び不足 (27.6)
	建 設 業	人手不足 (59.0)	人材育成 (32.2)	売上・受注の停滞減少 (25.7)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (51.1)	競争激化 (29.8)	人手不足 (22.1)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (59.5)	競争激化 (33.8)	設備店舗の狭小老朽化 (21.2)
	飲 食 業	人手不足 (37.2)	売上・受注の停滞減少 (36.5)	設備店舗の狭小老朽化/ 原材料高及び不足*同数 (30.8)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (31.8)	競争激化 (25.8)	人手不足 (24.8)
	交通運輸業	人手不足 (64.2)	人件費以外の経費増加 (32.1)	売上・受注の停滞減少 /人材育成*同数 (28.3)
	そ の 他	人手不足 (31.4)	売上・受注の停滞減少 /人材育成*同数 (27.6)	競争激化 (14.3)
地 区 別	北 勢	人手不足 (37.8)	売上・受注の停滞減少 (33.7)	人材育成 (22.6)
	中 勢	人手不足 (40.2)	売上・受注の停滞減少 (37.5)	人材育成 (22.6)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (42.0)	人手不足 (33.2)	競争激化 (32.2)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (43.0)	競争激化 (26.3)	人手不足 (21.5)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (52.4)	設備店舗の狭小老朽化 (24.1)	原材料高及び不足 (22.5)
総 合		売上・受注の停滞減少 (37.7)	人手不足 (34.8)	競争激化 (21.8)

## 県内商工会議所地区の景況

### ◎桑名商工会議所地区（調査対象 1,532 事業所 回答状況 327 事業所）

#### 現 状

平成 30 年 7～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 22.3%（前期 18.2%）、「やや悪い・悪い」が 34.0%（前期 38.4%）となった。D I 値は▲11.7（前期▲20.2）となり、前期調査時に比べ 8.5 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲16.0（前期▲12.3）・建設業が 14.7（前期▲8.8）・卸売業が 0.0（前期▲47.9）・小売業が▲38.8（前期▲36.9）・飲食業が▲53.9（前期▲40.0）・サービス業が▲8.5（前期▲12.6）・交通運輸業が▲33.3（前期▲60.0）・その他の業種が 6.3（前期▲14.3）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して建設業、卸売業、サービス業、交通運輸業、その他業種で改善が見られた。特に卸売業では大幅に改善し、建設業、その他の業種ではプラス水準に転じた。一方、製造業、小売業、飲食業は悪化となった。

#### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 16.2%、「やや悪い・悪い」との回答は 34.5%、D I 値は▲18.3 となった。

現状の D I 値の▲11.7%と比較すると、6.6 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲24.8・建設業が 5.9・卸売業が▲28.6・小売業が▲46.3・飲食業が▲61.6・サービス業が▲10.1・交通運輸業が▲33.3・その他の業種が 31.2 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、その他の業種が 24.9 ポイントの改善を見通している。一方で製造業が 8.8 ポイント、建設業が 8.8 ポイント、卸売業が 28.6 ポイント、小売業が 7.5 ポイント、飲食業が 7.7 ポイント、サービス業が 1.6 ポイントの悪化、交通運輸業が横ばいを見通す結果となった。

#### 目立った変化等

##### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、36.4%（前期 42.0%）、「人手不足」が 31.5%（前期 27.7%）、「競争激化」が 20.5%（前期 22.3%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、飲食業、その他の業種で「人手不足」が最も多かった。

前期と比較すると、回答数の多い「売上・受注の停滞減少」の割合は減少し、小売業を除く全ての業種で「人手不足」と回答する割合が増加している。「人材育成」と回答する割合も増加しており、人材確保がこれまで以上に課題となっている状況が窺える。

##### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 53 社 16.2%（前期 12.8%）であった。前期と比較して 3.4 ポイント増加した。

業種別では、製造業が 16.1%（前期 14.3%）、建設業が 19.1%（前期 19.1%）、卸売業が 14.3%（前

期 0.0%)、小売業が 13.0% (前期 5.3%)、飲食業が 15.4% (前期 20.0%)、サービス業が 11.9% (前期 12.7%)、交通運輸業が 33.3% (前期 0.0%)、その他の業種が 31.3% (前期 28.6%) となった。

前期と比較し、交通運輸業が 33.3 ポイントと最も増加幅が大きく、飲食業は、▲4.6 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

## ◎四日市商工会議所地区(調査対象事業所事業所 2,402 事業所 回答状況 560 事業所)

### 現 状

平成 30 年 7~12 月の業況は、「良い・やや良い」が 24.5% (前期 19.5%)、「やや悪い・悪い」が 31.2% (前期 38.8%) となった。D I 値は▲6.7 (前期▲19.3) となり、前期調査時に比べ 12.6 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲9.7 (前期▲16.8)・建設業が 7.9 (前期▲5.8)・卸売業が▲35.4 (前期▲45.9)・小売業が▲30.1 (前期▲51.8)・飲食業が▲50.0 (前期▲64.0)・サービス業が▲4.3 (前期▲16.9)・交通運輸業が 25.0 (前期 33.3)・その他の業種が 0.0 (前期 4.1) となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業・その他の業種で改善、建設業はプラスに転じている。一方で、交通運輸業が悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 20.0%、「やや悪い・悪い」との回答は 31.1%、D I 値は▲11.1 となった。

現状の D I 値 (▲6.7) と比較すると、4.4 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲7.8・建設業が▲2.7・卸売業が▲41.9・小売業が▲38.1・飲食業が▲44.4・サービス業が▲6.9・交通運輸業が 50.0・その他の業種が▲14.2 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると製造業が 1.9 ポイント、飲食業が 5.6 ポイント、交通運輸業が 25.0 ポイント、その他の業種が 14.2 ポイント改善する見通しである。一方で、建設業が 10.6 ポイント、卸売業が 6.5 ポイント、小売業が 8.0 ポイント、サービス業が 2.6 ポイント悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について、「人手不足」が最も多く 39.1% (前期 35.5%)「売上・受注の停滞減少」が 31.3% (前期 38.2%)、「人材育成」が 21.3% (前期 22.5%) と上位を占めた。

業種別では、卸売業が前期 6 位「原材料高及び不足」10.8%から今期 3 位の 32.3%に変動した。「人手不足」については、製造業では前期 2 位 35.5%が今期 1 位の 36.8%、飲食業では前期 3 位 40.0%が今期 1 位の 44.4%、建設業では前期に引き続き 65.6%(前期 57.5%)今期 1 位であり、「人手不足」の課題が強まっている。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 145 社 25.9% (前期 18.2%) であった。前期と比較して

7.7ポイント増加した。

業種別では、製造業が27.2%(前期14.0%)、建設業が22.4%(前期20.3%)、卸売業が9.7%(前期13.5%)、小売業が15.9%(前期12.1%)、飲食業が38.9%(前期24.0%)、サービス業が38.3%(前期18.8%)、交通運輸業が50%(前期33.3%)、その他の業種では23.8%(前期25.0%)となり、前期と比較し、サービス業が、19.5ポイントと最も増加幅が大きく、卸売業は、3.8ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。最も設備投資を行った業種は、サービス業で44社が設備投資を行った。

## ◎鈴鹿商工会議所地区（調査対象 974 事業所 回答状況 326 事業所）

### 現 状

平成30年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が22.1%(前期19.9%)、「やや悪い・悪い」が33.2%(前期34.1%)となった。DI値は▲11.1(前期▲14.2)となり、前期調査時に比べ3.1ポイント改善する結果となった。

業種別のDI値を見ると、製造業が▲22.5(前期▲14.9)・建設業が0.9(前期▲6.2)・卸売業が14.3(前期▲33.4)・小売業が▲42.1(前期▲38.3)・飲食業が7.7(前期▲18.8)・サービス業が▲7.8(前期▲8.1)となった。

業種別では前期DI値と比較して建設業、卸売業、飲食業、サービス業で改善が見られた。特に、卸売業については、マイナスからプラスへと大きく改善が見られた。一方、製造業、小売業は悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が17.5%、「やや悪い・悪い」との回答は34.6%、DI値は▲17.1となった。

現状のDI値(▲11.1%)と比較すると、6.0ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のDI値を見ると製造業が▲23.8・建設業が0.0・卸売業が▲49.9・小売業が▲49.9・飲食業が▲15.4・サービス業が▲30.7となった。

業種別に現状のDI値と比較すると、建設業がほぼ横ばいを見通す一方で、製造業で1.3ポイント、卸売業が57.2ポイント、小売業が7.0ポイント、飲食業が23.1ポイント、サービス業が22.9ポイントの悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について「人手不足」が43.9%(前期44.4%)と最も多く、「売上・受注の停滞減少」が34.7%(前期39.4%)、「人材育成」が29.8%(前期25.3%)と、上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業では「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、飲食業では「人手不足」が多い結果となった。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は75社23.0%(前期18.5%)であった。前期と比較し

て4.5ポイント増加した。

業種別では、製造業が23.8%（前期18.9%）、建設業が24.3%（前期18.6%）、卸売業が28.6%（前期16.7%）、小売業が18.4%（前期8.8%）、飲食業が30.8%（前期25.0%）、サービス業が12.8%（前期18.9%）となり、前期と比較すると、卸売業が11.9ポイントと最も増加幅が大きい結果となった。

## ◎亀山商工会議所地区（調査対象548事業所 回答状況97事業所）

### 現 状

平成30年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が17.6%（前期25.5%）、「やや悪い・悪い」が43.3%（前期38.3%）となった。DI値は▲25.7（前期▲12.8）となり、前期調査時に比べ12.9ポイント悪化する結果となった。

業種別のDI値を見ると、製造業が▲41.9（前期▲17.2）・建設業が23.1（前期0.0）・卸売業が0.0（前期▲25.0）・小売業が▲46.7（前期▲29.4）・飲食業が0.0（前期20.0）・サービス業が▲35.2（前期▲20.0）・交通運輸業が▲28.6（前期▲50.0）・その他の業種が0.0（前期66.7）となった。

業種別では前期DI値と比較して建設業・卸売業及び交通運輸業については改善が見られたが、それ以外の業種については悪化という結果となった。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.3%、「やや悪い・悪い」との回答は43.3%、DI値は▲31.0となった。

現状のDI値（▲25.7）と比較すると5.3ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のDI値を見ると製造業が▲41.9・建設業が0.0・卸売業が33.3・小売業が▲66.6・飲食業が▲28.6・サービス業が▲17.6・交通運輸業が▲71.4・その他の業種が0.0となった。

業種別に現状のDI値と比較すると、卸売業が33.3ポイント・サービス業が17.6ポイントの改善を見通すほか、製造業及びその他の業種が現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が23.1ポイント・小売業が19.9ポイント・飲食業が28.6ポイント・交通運輸業が42.8ポイントの悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、35.1%（前期40.4%）、「人手不足」が30.9%（前期33.0%）、「原材料高及び不足」が17.5%（前期10.6%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・小売業・サービス業・その他の業種は「売上・受注の停滞減少」を、建設業・交通運輸業は「人手不足」を、卸売業は「競争激化」を上位に挙げており、飲食業においては幅広い経営課題を抱えている結果となった。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は25社25.8%（前期19.1%）であった。前期と比較して製造業・建設業・卸売業・サービス業で増加し、全体として6.7ポイント増加した。

## ◎津商工会議所地区（調査 1,680 事業所 回答状況 188 事業所）

### 現 状

平成 30 年 7～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 22.3%（前期 13.9%）、「やや悪い・悪い」が 31.3%（前期 34.7%）となった。D I 値は▲9.0（前期▲20.8）となり、前期調査時に比べ 11.8 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲39.5（前期▲24.3）・建設業が 18.2（前期▲20.3）・卸売業が 50.0（前期▲16.8）・小売業が▲37.0（前期▲52.2）・飲食業が▲33.4（前期 33.3）・サービス業が▲11.4（前期 0.0）・交通運輸業が 14.3（前期▲33.4）・その他の業種が▲13.3（前期▲25.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業、飲食業、サービス業を除く全ての業種で改善が見られ、特に建設業については大幅な改善が見られた。一方で製造業、サービス業では 10 ポイント以上悪化となった。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 17.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 29.8%、D I 値は▲12.7 となった。

現状の D I 値▲9.0 と比較すると、3.7 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲23.6・建設業が 14.6・卸売業が▲12.5・小売業が▲44.4・飲食業が▲33.4・サービス業が▲17.2・交通運輸業が▲14.3・その他の業種が▲13.2 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業のみ改善を見通し、飲食業、その他業種が現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業、卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業では悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について今期は「人手不足」43.6%（前期 31.6%）が最も多く、前期と比較し 12 ポイント増加となった。第 2 位は「売上・受注の停滞減少」36.7%（前期 41.2%）と前期の 1 位、2 位の順位が入れ替わった。次いで、「人材育成」25.5%（前期 18.7%）、「競争激化」23.4%（前期 26.7%）、「設備・店舗の狭小老朽化」14.9%（前期 15.0%）が上位を占めた。

また、業種別では、製造業、小売業、サービス業は「売上・受注の停滞減少」、建設業、卸売業は「人手不足」が第 1 位の項目になっている。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 41 社 21.8%（前期 34 社 18.2%）であった。前期と比較し 3.6 ポイントの増加となった。業種別では、建設業が 15 社（前期 11 社）、製造業、サービス業が 7 社と多かった。

## ◎松阪商工会議所地区（調査対象 807 事業所 回答状況 295 事業所）

### 現 状

平成 30 年 7～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 22.4%（前期 14.3%）、「やや悪い・悪い」が 37.6%（前期 46.4%）となった。D I 値は▲15.2（前期▲32.1）となり、前期調査時に比べ 16.9 ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲18.3（前期▲34.3）・建設業が 33.9（前期▲5.0）・卸売業が▲20.0（前期▲36.9）・小売業が▲38.8（前期▲55.1）・飲食業が▲21.0（前期▲57.2）・サービス業が▲39.6（前期▲28.6）・交通運輸業が 23.5（前期▲6.2）となった。

業種別では前期D I 値と比較して、サービス業を除く全ての業種で改善した。

## 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 12.2%、「やや悪い・悪い」との回答は 34.3%、D I 値は▲22.1 となった。

現状のD I 値（▲15.2）と比較すると、6.9 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲26.8・建設業が▲0.1・卸売業が▲6.7・小売業が▲47.8・飲食業が▲15.8・サービス業が▲24.6・交通運輸業が 17.6 となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、卸売業が 13.3 ポイント、飲食業が 5.2 ポイント、サービス業が 15.0 ポイントの改善を見通している。一方で、製造業が 8.5 ポイント、建設業が 34.0 ポイント、小売業が 9.0 ポイント、交通運輸業が 5.9 ポイントの悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」と「人手不足」が最も多く 38.0%（前期 49.8%・27.1%）、「人材育成」が 20.7%（前期 18.7%）、「競争激化」が 19.7%（前期 24.0%）と上位を占めた。

また、業種別では製造業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、交通運輸業は「人手不足」、飲食業は「原材料高及び不足」が最も多かった。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 52 社 17.6%（前期 12.8%）であった。前期と比較して 4.8 ポイント増加した。

業種別では、製造業が 19.7%（前期 11.9%）、建設業が 13.2%（前期 15.0%）、卸売業が 6.7%（前期 5.3%）、小売業が 19.4%（前期 8.7%）、飲食業が 21.1%（前期 4.8%）、サービス業が 13.2%（前期 14.3%）、交通運輸業が 35.3%（前期 37.5%）となった。

前期と比較し、飲食業が 16.3 ポイントと最も増加幅が大きく、交通運輸業は 2.2 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

## ◎伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 295 事業所）

### 現 状

平成 30 年 7～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 26.8%（前期 20.4%）、「やや悪い・悪い」が 27.5%（前期 29.4%）となった。D I 値は▲0.7（前期▲9.0）となり、前期調査時に比べ 8.3 ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲15.8（前期 2.1）・建設業が 25.0（前期 0.0）・卸売業が▲11.1（前期▲25.0）・小売業が▲23.0（前期▲32.7）・飲食業が 4.3（前期▲16.0）・サービス業が 12.5（前

期▲1.8)・交通運輸業が▲100.0(前期▲33.3)・その他の業種が▲33.4(前期75.0)となった。

業種別では前期D I 値と比較して建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で改善が見られた。一方で製造業、交通運輸業、その他の業種が悪化した。

## 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が11.9%、「やや悪い・悪い」との回答は25.1%、D I 値は▲13.2となった。

現状のD I 値(▲0.7%)と比較すると、12.5ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲18.5、建設業が12.5、卸売業が▲27.7、小売業が▲32.3、飲食業が▲14.9、サービス業が▲2.5、交通運輸業が▲100.0、その他の業種が▲33.4となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業で▲2.7ポイント、建設業で▲12.5ポイント、卸売業で16.6ポイント、小売業で▲9.3ポイント、飲食業で▲19.2ポイント、サービス業で▲15.0ポイント悪化を見通し、交通運輸業を除く全ての業種で悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、40.7%(前期50.8%)、「競争激化」が38.3%(前期28.4%)、「人手不足」が34.9%(前期35.8%)、と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、交通運輸業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、飲食業「人手不足」、サービス業で「競争激化」が上位を占めた。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は43社14.6%(前期13.7%)であった。前期と比較して0.9ポイント増加した。業種別では、サービス業が17社と最も多かった。

## ◎鳥羽商工会議所地域(調査対象250事業所 回答状況84事業所)

## 現 状

平成30年7月～12月の業況は、「良い・やや良い」が20.3%(前期12.6%)、「やや悪い・悪い」が54.8%(前期58.6%)となった。D I 値は▲34.5(前期▲46.0)となり前期調査時と比べ、11.5ポイントの改善となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が14.2(▲前期14.3)・建設業が▲17.6(前期▲8.3)・卸売業が▲16.7(前期▲25.0)・小売業が▲63.1(前期▲65.3)・飲食業が▲38.5(前期▲90.0)・サービス業が▲60.0(前期▲57.1)・交通運輸業が▲100.0(前期0.0)・その他の業種が▲75.0(前期100.0)となっている。業種別では前回D I 値と比較して、製造業、卸売業、小売業、飲食業が改善。特に製造業は28.5ポイント、飲食業は51.5ポイントと大きく改善している。

## 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 10.7%、「やや悪い・悪い」との回答は 40.4%、D I 値は▲29.7 となった。

現状のD I 値 (▲34.5) と比較すると、4.8 ポイント改善の見通しとなっている。

業種別のD I 値を見ると製造業が 0.0・建設業が▲11.8・卸売業が 0.0・小売業が▲47.4・飲食業が▲69.3・サービス業が▲40.0・交通運輸業が 0.0・その他の業種が▲25.0 となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業と飲食業を除く業種が改善する見通しとなった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について、前回と変わらず「売上・受注の停滞減少」が最も多く 46.4% (前期 56.3%) を占めた。次いで「設備店舗の狭小老朽化」が 34.5% (前期 31.0%)、「人手不足」が 27.4% (前期 20.7%)、と上位を占めた。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 16 社 19.0% (前期 20.7%) であった。前期と比較して 1.7 ポイント減少した。業種別では、製造業が 12.5% (前期 0.0%)、建設業が 31.3% (前期 25.0%)、卸売業が 0.0% (前期 25.0%)、小売業が 18.8% (前期 13.0%)、飲食業が 18.8% (前期 40.0%)、サービス業が 12.5% (前期 23.8%)、交通運輸業が 0.0% (前期 100.0%)、その他業種が 6.3% (前期 0.0%) となった。

## ◎上野商工会議所地区 (調査対象 280 事業所 回答状況 87 事業所)

## 現 状

平成 30 年 7~12 月の業況は、「良い・やや良い」が 13.8% (前期 17.4%)、「やや悪い・悪い」が 39.0% (前期 32.5%) となった。D I 値は▲25.2 (前期▲15.1) となり、前期調査時に比べ 10.1 ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲16.6 (前期▲13.3)・建設業が▲5.2 (前期 15.4)・卸売業が▲50.0 (前期▲33.3)・小売業が▲22.3 (前期▲26.3)・飲食業が 0.0 (前期▲57.1)・サービス業が▲52.9 (前期▲15.4) となった。

業種別では前期D I 値と比較して、小売業・飲食業で改善が見られた。一方で、製造業・建設業・卸売業・サービス業においては悪化した。

## 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 8.0%、「やや悪い・悪い」との回答は 42.5%、D I 値は▲34.5 となった。

現状のD I 値 (▲25.2) と今後の見通しD I 値 (▲34.5) とを比較すると、9.3 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲22.2・建設業が▲21.0・卸売業が▲33.3・小売業が▲33.4・飲食業が0.0・サービス業が▲47.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、卸売業が5.9ポイント、サービス業が5.9ポイント改善を見通すほか、飲食業が0.0ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業が5.6ポイント、建設業が15.8ポイント、小売業が27.7ポイント悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く50.6%（前期39.5%）、「競争激化」が31.0%（前期19.8%）、「人出不足」が19.5%（前期20.9%）、「設備店舗の狭小老朽化」が19.5%（前期19.8%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業・飲食業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、サービス業では「競争激化」が最も多かった。建設業では「人材不足」が最も多く、全体的に見ても人材確保に関する課題が深刻化している状況が窺える。

### 【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は12社 13.8%（前期15.1%）であった。前期と比較して1.3ポイント減少した。

業種別では、製造業が5.6%（前期10.0%）、建設業が26.3%（前期15.4%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が11.1%（前期26.3%）、飲食業が25.0%（前期14.3%）、サービス業が17.6%（前期7.7%）となった。業種別では、建設業が5社と最も多かった。

## ◎名張商工会議所地域（調査対象200事業所 回答状況99事業所）

### 現 状

平成30年7月～12月の業況は、「良い・やや良い」が29.3%（前期33.3%）、「やや悪い・悪い」が29.3%（前期29.4%）となった。D I 値は0.0（前期3.9）となり、前期調査時に比べ3.9ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲0.1（前期▲8.4）・建設業が19.1（前期30.0）・卸売業が▲16.6（前期▲20.0）・小売業が▲54.6（前期▲15.4）・飲食業が▲50.0（前期0）・サービス業が19.4（前期0）・交通運輸業が▲100.0（前期0）、その他の業種が▲12.5（前期22.2）となった。

業種別の前期D I 値との比較では、製造業・卸売業・サービス業の業種で改善が見られたが、建設業・小売業・飲食業・交通運輸業、その他の業種については悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が20.2%、「やや悪い・悪い」との回答は36.3%、D I 値は▲16.1となった。

現状のD I 値（0.0）と比較すると、16.1ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲7.1・建設業が4.7・卸売業が0.0・小売業が▲45.5・飲食業が▲50.0・サービス業が▲16.1・交通運輸業が▲100.0・その他の業種が▲37.5となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、小売業が9.1ポイントの改善を見通すほか、飲食業と交通運輸業が現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業が7.0ポイント、建設業が14.4ポイント、卸売業が16.6ポイント、サービス業が35.5ポイント、その他の業種が25.0ポイント悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く36.4%（前期40.2%）、「人手不足」が23.2%（前期25.5%）「競争激化」が22.2%（前期28.4%）、と上位を占めた。

また、業種別では、製造業では「売上・受注の停滞減少」・「原材料高及び不足」が、建設業・卸売業では「人手不足」、小売業・飲食業・サービス業・交通運輸業・その他の業種では「売上・受注の停滞減少」が1位となった。

### 【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は17社17.2%（前期11.8%）であった。前期と比較して5.4ポイント増加した。業種別ではサービス業が7社と最も多かった。

業種別では、製造業が14.3%（前期8.3%）、建設業が9.5%（前期5.0%）、卸売業16.7%（前期10.0%）、小売業が27.3%（前期30.8%）、飲食業が25.0%（前期40.0%）、サービス業が22.6%（前期7.4%）、その他の業種では12.5%（前期0.0%）となった。

## ◎尾鷲商工会議所地域（調査対象137事業所 回答状況132事業所）

### 現 状

平成30年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が12.1%（前期9.3%）、「やや悪い・悪い」が49.3%（前期52.9%）となった。D I 値は▲37.2（前期▲43.6）となり、前期調査時に比べ6.4ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲40.1（前期▲50.0）・建設業が▲7.4（前期▲29.2）・卸売業が▲37.5（前期▲33.3）・小売業が▲69.2（前期▲49.9）・飲食業が▲41.7（前期▲36.4）・サービス業が▲26.3（前期▲33.3）・交通運輸業が▲33.4（前期▲100.0）・その他の業種が▲33.3（前期▲60.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して製造業・建設業・サービス業・交通運輸業・その他の業種でマイナス値ではあるが改善が見られた。一方で、卸売業・小売業・飲食業においては悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が9.1%、「やや悪い・悪い」との回答は41.7%、D I 値は▲32.6となった。

現状のD I 値（▲37.2）と比較すると、4.6ポイント改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲20.0・建設業が▲14.8・卸売業が▲75.0・小売業が▲50.0・飲食業が▲41.7・サービス業が▲26.4・交通運輸業が▲66.7・その他の業種が▲16.7となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が20.1ポイント改善を見通すほか、小売業が19.2ポイント、その他の業種が16.6ポイントの改善を見通し、飲食業・サービス業は横ばい、一方で卸売業は、37.5ポイント、交通運輸業で33.3ポイント、建設業で7.4ポイント悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題については「売上・受注の停滞減少」が最も多く、53.0%（前期56.4%）、「原材料高及び不足」が22.7%（前期25.0%）、「設備店舗の狭小老朽化」が22.7%（前期22.9%）、「競争激化」が16.7%（前期13.6%）と上位を占めたが、業種別では、建設業が、前期2位「人手不足」25.0%から今期2位「競争激化」25.9%に変動しており、卸売業においても「競争激化」が今期2位37.5%（前期3位22.2%）となっていることから「競争激化」の課題が表面化している状況が窺える。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は22社16.7%（前期21社15.0%）であった。前期と比較して1.7ポイント増加した。

業種別では、製造業16.7%（前期16.7%）、建設業3.7%（前期4.2%）、卸売業0.0%（前期22.2%）、小売業11.5%（前期10.7%）、飲食業33.3%（前期0.0%）、サービス業26.3%（前期23.8%）、交通運輸業33.3%（前期25.0%）、その他の業種50.0%（前期60.0%）となり、前期と比較し、飲食業が33.3ポイントと最も増加幅が大きく、卸売業は22.2ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。業種別では、製造業が5社と最も多かった。

## ◎熊野商工会議所地区（調査対象200事業所 回答状況55事業所）

### 現 状

平成30年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が10.9%（前期18.8%）、「やや悪い・悪い」が47.3%（前期37.5%）となった。D I 値は▲36.4（前期▲31.3）となり、前期調査時に比べ5.1ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲60.0（前期0.0）・建設業が0.0（前期▲100.0）・卸売業が▲50.0（前期▲100.0）・小売業が▲47.0（前期▲33.3）・飲食業が▲33.3（前期0.0）サービス業が▲40.0（前期20.0）・その他の業種が0.0（前期0.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して建設業・卸売業で改善が見られた。一方で、製造業・小売業・飲食業・サービス業が悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が7.3%、「やや悪い・悪い」との回答は54.6%、D I 値は▲47.3となった。

現状のD I 値（▲36.4）と比較すると、10.9ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲30.0・建設業が▲42.9・卸売業が▲100.0・小売業が▲64.7・飲

食業が▲66.6・サービス業が▲40.0・その他の業種が0.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が30.0ポイント改善を見通すほか、サービス業が▲40.0、その他の業種が0.0と現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が42.9ポイント、卸売業が50.0ポイント、小売業が17.7ポイント、飲食業が33.3ポイント悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、50.9%（前期46.9%）、「設備店舗の狭小老朽化」が27.3%（前期25.0%）、「人件費以外の経費増加」が21.8%（前期21.9%）、「原材料高及び不足」が21.8%（前期31.3%）と上位を占めた。

また、業種別では、建設業・卸売業・小売業・飲食業において「売上・受注の停滞減少」が最も多くあがり、製造業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が2番目に多くあがっており、「売上・受注の停滞減少」が上昇している状況が窺える。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は9社16.4%（前期21.9%）であった。前期と比較して5.5ポイント減少した。

# 景況調査票

平成31年1月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

## I. 企業の概要

### 1. 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1. 食料品	2. 繊維品	3. 機械製品	4. 金属製品	5. 木材木製品
	6. 化学製品	7. 土石窯業	8. 印刷・出版	9. その他	
〈建設業〉	10. 土木工事	11. 建築工事	12. その他		
〈卸売業〉	13. 食料品	14. 繊維・身の回り品	15. その他		
〈小売業〉	16. 繊維・身の回り品	17. 食料品	18. 家具・日用品	19. 電気製品	20. その他
〈飲食業〉	21. 飲食店				
〈サービス業〉	22. 美容・理容	23. ホテル・旅館	24. 自動車整備	25. 不動産	26. その他
〈交通運輸業〉	27. 交通運輸	〈その他〉	28. その他		

### 2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

## II. 企業の経営状況について

### 3. 現状について…平成30年7～12月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪い	い	5. 悪	い
------	---	--------	---	----------	---------	---	------	---

理由: 

### 4. 今後の見通しについて…平成31年1～6月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪い	い	5. 悪	い	6. わからない
------	---	--------	---	----------	---------	---	------	---	----------

理由: 

### 5. 売上状況について…平成30年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

### 6. 売上の見通しについて…平成31年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

### 7. 利益状況について…平成31年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

### 8. 販売条件(単価・決済方法)について…平成30年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

### 9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成30年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. 仕入なし
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	---------

### 10. 設備投資について

平成30年7～12月の実績					平成31年1～6月の予定				
1. 行った	2. 行わない				1. 予定あり	2. 予定なし			

### 11. 資金繰りの現状について…平成30年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

### 12. 資金繰りの見通しについて…平成31年1～6月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

### 13. 借入の現状について…平成30年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容	易	2. 普	通	3. 困	難
------	---	------	---	------	---

### 14. 借入予定はどうか…(平成31年1～6月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

### 14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

### 14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

### 15. 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

### 16. その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

( )  
御協力ありがとうございました。